

令和元年度 行動障害研修会ワーキング 振り返り・評価

R2年1月30日作成

【活動方針】

平成30年度に実施した情報交換会の意見をもとに、情報交換会を開催する。

【取り組み内容】 ※具体的な活動内容及び結果を記載する

| | | | |
|---|----|-----|------------------|
| 開催回数 | 7回 | 開催月 | 6、7、7、8、10、12、1月 |
| <ul style="list-style-type: none">・昨年度の情報交換会で出た意見をもとに、研修内容としてはブラッシュアップしたものではなく、昨年度同様の内容を実施することにした。ワーキング当初から、当ワーキングで継続的に開催するのではなく、各法人や事業所に依頼をして開催していける形が理想的であることを確認している。・11月7日に第2回の情報効果会を実施し、者と児の2事業所から実践方向をしてもらい、グループワークで事例検討と意見交換を行った。・研修会のアンケートからは、好評な点と改善点を確認している。それを踏まえて1月の振り返りと評価では、当初の課題である「行動障害のある児童を受け入れる事業所が少ない」に対して、課題があがった当時に比べて事業所自体(従事者)が増えていること、特性に応じた対応がとれる体制ができてきていることを確認し、研修の一定効果を得られたためワーキングを終了する方向となった。・情報交換の形としては、児童の事業所同士が意見交換等ができる機会の設定を、自立支援協議会とは別枠で、サービス提供事業所を中心に何等かの形で実施できればよいという意見があがった。 | | | |

【メンバーの感想・意見（協議会活動を通じての振り返り）】

協議会での活動を通じての成果や気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、協議会の運営や体制に関する課題・意見等。

・実際に事業所がどのような対応をしているか分からなかったのが、知ることができて良かったし、参加者同士も知る機会になったのがよかった。

・グループワークでは、受け入れられないという事業所が少ない印象。地域課題があがった3年前とは、児童のサービス提供事業所も増え、状況が変わっていると感じる。

・実践報告、グループワークを通じて、対象者の状況や対応方法等を詳細に伝えることで、受け入れてもらえる可能性を感じた。そういった現状の意見が聞けただけでもワーキングの役割を果たせたと感じる。

・協議会、ワーキングで研修を続けていくことは難しいと思うが、研修会の必要性や需要はあることが分かったことを、運営会議や地域課題があがった相談支援部会などには報告が必要。

情報機能、調整機能、開発機能、教育機能、権利擁護機能、評価機能

【来年度の取り組みについて】

| 継続する場合（モニタリングも含む） | |
|-------------------|--|
| 活動方針（案） | |
| 取り組み内容 | |
| 引き継ぎ事項等 | |

| 終了する場合 | |
|--------|--|
| 理由等 | 当初の課題である「行動障害のある児童を受け入れる事業所が少ない」に対して、課題があがった当時と比較して、事業所(従事者)自体が倍増していることと、特性に応じた対応がとれる体制ができてきていることを確認し、研修の一定効果を得られたため終了とする。 |